

科学の力で命救って



富士フィルムが人工多能性幹細胞(iPS細胞)を使った移植医療の承認を国から得るための臨床試験を2018年度中に申請する方針を明らかにした。実現すれば日本では企業として初めての例となる。

僕はこの記事を読んで感動した。iPS細胞について、最近理科の授業で学ん

富士フィルム iPS 治験

移植片対宿主病 企業初、本年度申請へ

富士フィルムは、人工多能性幹細胞(iPS細胞)を用いた移植医療の承認を国から得るための臨床試験を2018年度中に申請する方針を明らかにした。実現すれば日本では企業として初めての例となる。

富士フィルムは、人工多能性幹細胞(iPS細胞)を用いた移植医療の承認を国から得るための臨床試験を2018年度中に申請する方針を明らかにした。実現すれば日本では企業として初めての例となる。

前田 げんき 絃貴さん(陽明中3年)

だ。この技術を使えば、たくさんさんの難病を抱えた人たちを助けることができる。これは、人類にとって科学による大きな進歩であると思う。これによって、生きる希望を与えられる人もいるだろう。

この技術を使えば、お年寄りの視覚・聴覚の機能低下を防止できるかもしれない。僕にも大好きな祖父母がいるので元気なまままで長生きしてほしい。だから、iPS細胞の技術を利用して治療が進められてほしい。科学の力で人を救うことは、科学を進展させていく上で最大の目的であると思う。いつの日か僕も人々の命のために科学の発展に貢献していきたい。

